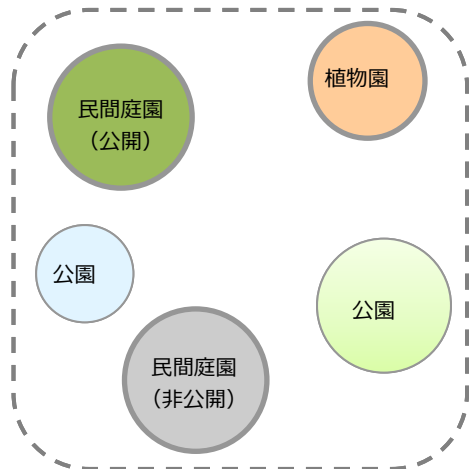


ガーデンツーリズム登録制度の創設

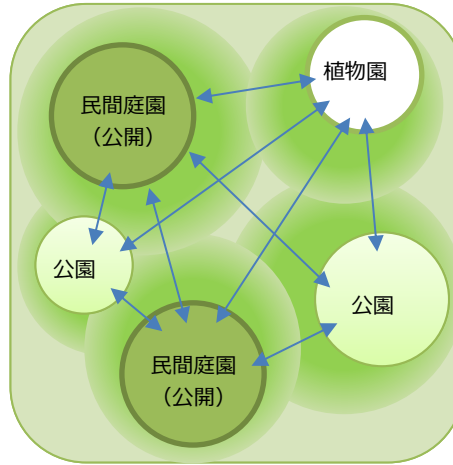
※ガーデンツーリズム：複数の庭園等が連携し、多様な庭園等の個性を十分に発揮するように磨き上げを図ることで、魅力的な体験や交流を創出する取組

これまで(個々の庭園管理)



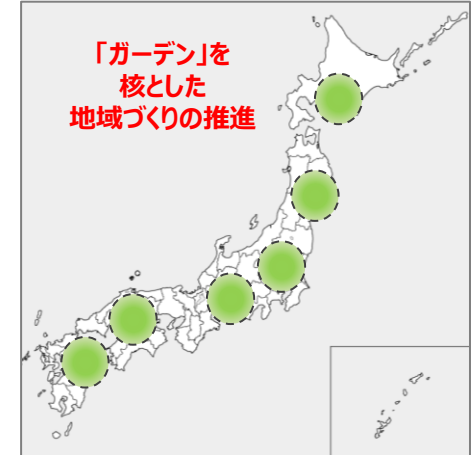
地域に多くの公園、庭園、植物園があるが、個々に管理運営をしているため集客に限界があり、管理コストも課題。

庭園の連携体制の構築
庭園文化の向上・地域の活性化



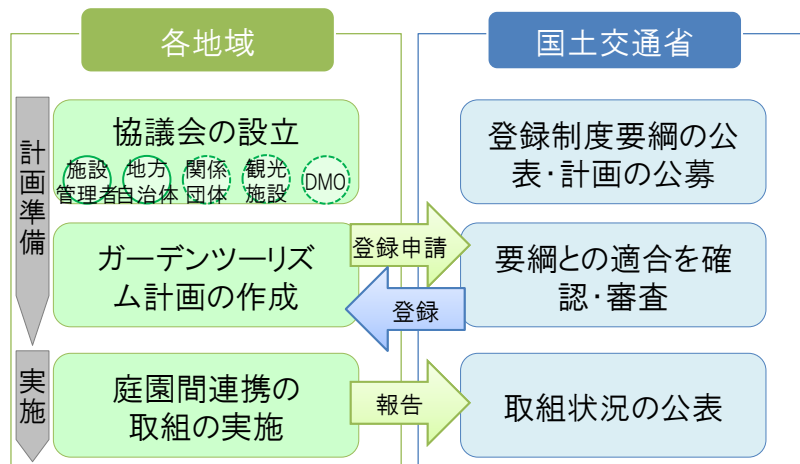
地域ごとの風土、文化を反映させた統一的なテーマを設定。テーマに沿った複数の施設を連携する体制を構築。認知度の向上、集客の増加を図り、庭園文化の向上と地域の活性化を図る。

全国の団体の連携による
レベルアップ



登録団体がさらに全国的に連携し、ノウハウが横展開され、市場が拡大

◆ ガーデンツーリズム登録制度の流れ



◆ 審査会委員

倉重 祐二	新潟県立植物園 顧問
小林 茂	株式会社JTBパブリッシング ソリューション事業本部 企画・制作部担当部長「JCB THE PREMIUM」編集
須磨 佳津江	ジャーナリスト (元NHKアナウンサー)
田中 伸彦	東海大学観光学部観光学科 教授
蓑茂 壽太郎 (委員長)	東京農業大学 名誉教授
八木 波奈子	有限会社ビズ出版代表取締役

◆ ガーデンツーリズム登録ロゴマーク



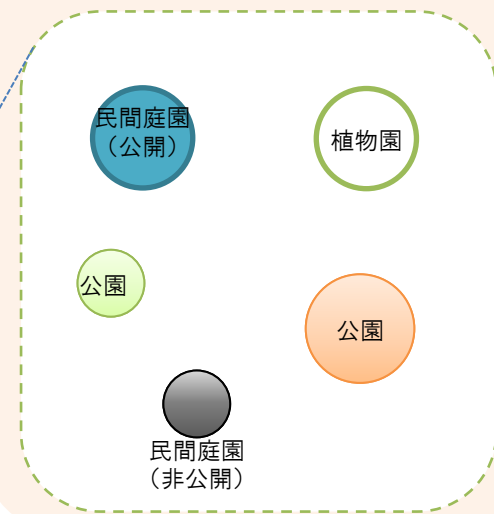
(敬称略・五十音順)

周遊部門と探訪部門のイメージ

- ・広域にわたる庭園周遊
- ・庭園間をつなぐテーマとストーリーが重要

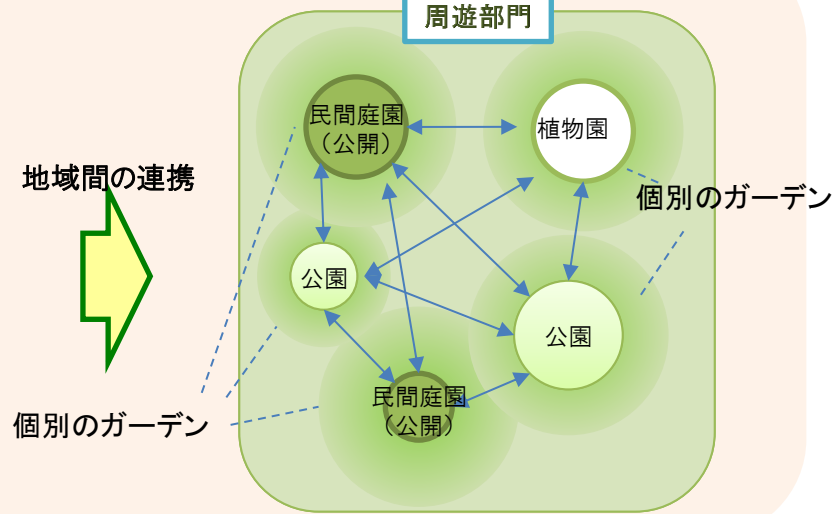
周遊部門

これまでは各庭園が個々にPR

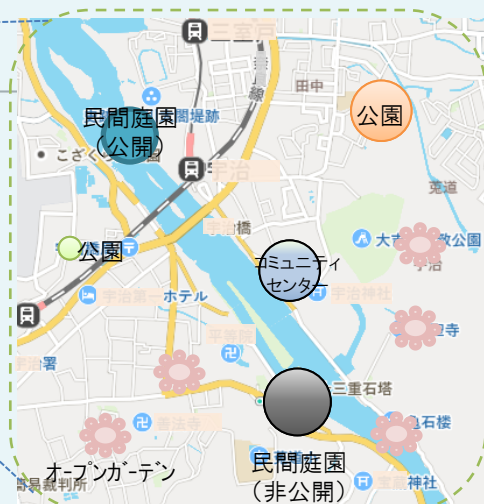


公共の庭園等を主体とした連携によるまちづくり

周遊部門



マイクロツーリズムに注目が集まってきたところ
これまでは各庭園が個々にPR



探訪部門

- ・マイクロツーリズム
- ・地域に住む人々の庭園文化形成の継続的な取組をツーリズムとして発展させた計画であることが重要

地域の人々のライフスタイルに根ざした
庭園文化形成の継続的な取組によるまちづくり

探訪部門

